



1月30日(木)、青森障害者職業センターの大越所長と五所川原公共職業安定所の統括職業指導官の山谷氏を講師にお迎えし職業ガイダンスが行われました。

- ・働くことについて考えてみよう
- ・学校と会社の違い
- ・働き続けるために必要なこと

初めに、「就職を目指すための準備」として、左の内容について話がありました。

働くことについて考えてみよう

なぜ働くのか？

「お金のため」、「生活のため」、「好きなことのため」、「社会のため」。いろんな理由があります。「まだよく分からない」、「みんなが働いているから」という理由でもいいので、なぜ働くのかについて、一度考えてみましょう。

働くための力は身に付いているか？ 会社に協力(配慮)して欲しいことは？

働くためには、まず自分のことを理解することが大切です。そして、自分の思っていること、考えていることを整理し、相手(会社)に伝えることができるようにしましょう。

より具体的に考えると？

やってみたい仕事は何でしょうか？ 1週間に何日働きたいですか？ 働く時間は何時間？ 通勤方法は？ 給料はどれくらい欲しいですか？ 休みは何曜日がいいのか？ など具体的に考えてみましょう。

学校と会社の違い

学校はどんなところ？

- 学校は勉強をするところ
- 先生が教えてくれる
- ゆっくりでも、間違っても、努力すれば良い
- 友達と平等
- お金はもらえない

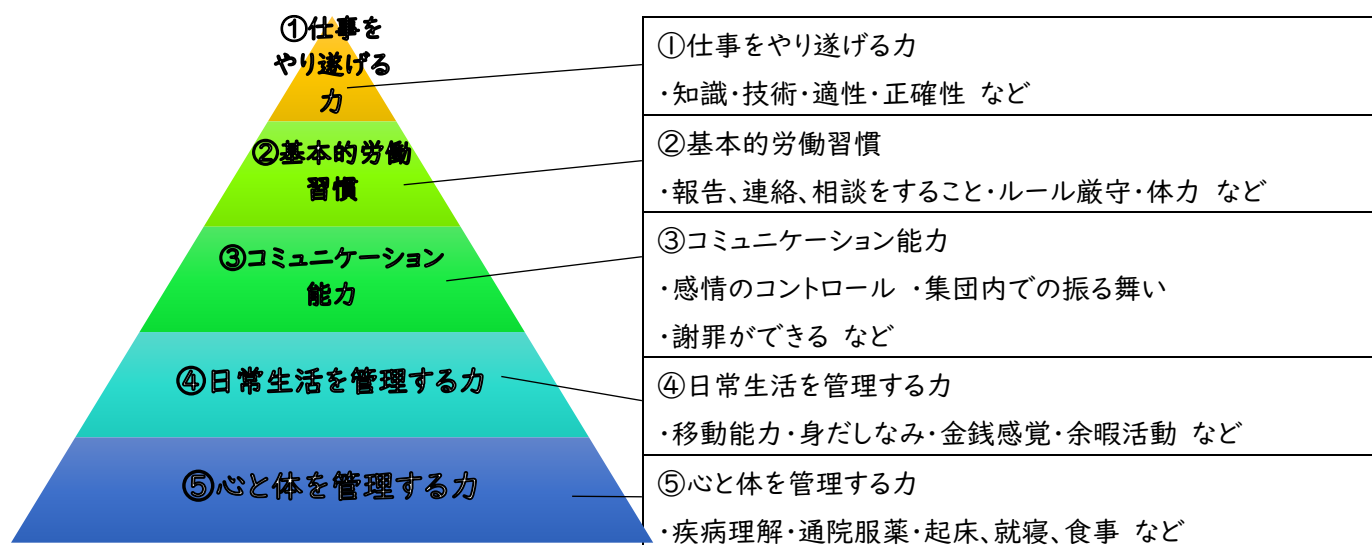


会社はどんなところ？

- みんなで協力してそれぞれが責任をもって働くところ
- 仕事は上司と一緒に働く人に教えてもらう
- スピードや正確さが求められる
- 上下関係(上司や先輩)
- 仕事をするとお金がもらえる



働き続けるために必要なこと



「職業準備性ピラミッド」(障害者職業センター)

上記の職業準備性ピラミッドの④と⑤は、働く上での土台となる基礎的な部分です。在学中に身に付けましょう。卒業後に働き続けるために、②と③がとても大切な力です。

例えば、とある会社の方は「仕事は一人でするのではない。周りの人と仲良くできない人がいると、会社の仕事が上手くいかない」とおっしゃっていました。そのために、学校の学習活動や実習の中で、みんなと一緒に作業をする練習が必要です。また、「ありがとうございます」「すみません」を言えるようになることも大切です。

また、「挨拶は基本」「返事がないと、分かっているのか分かっていないのかが分からない」「わからないまま勝手にされると、後で大変なんだよね」と話す会社の方もいらっしゃいます。そのためには、報告・連絡・相談や質問が(自分から)できるようになることが大切です。

さらに、「休まず来てくれると頼りになる」「せめて、休む時には連絡してほしい」と会社の方に言われることもあります。在学中から時間を守って行動することやルールを守ること。体力をつけ、体調を管理することも普段から取り組んでいくことが必要です。手洗いやうがいをする習慣や、自分の体を守るために、普段から運動に取り組むことも在学中からできることではないでしょうか。

後半はハローワークでの手続きについて説明がありました。

6月下旬～ 進路面談(進路の方向性確認)

(以下は一般就労・就労継続支援A型のみ)

7月上旬～中旬 ハローワークへの求職登録

7月下旬～8月 四者面談

10月 後期産業現場等における実習

11月 進路面談(進路希望決定)

12月頃 企業への応募(ハローワークからの紹介状交付)
面接試験

1月頃 採用・不採用の決定 (不採用の場合は、再度実習を行います)
(採用の場合)

2月 移行支援会議



進路決定へ向けて、ハローワークをはじめ、たくさんの支援機関のみなさんが、お手伝いしてくれます。自分の夢、希望を叶えるために頑張らしましょう!